

平成30年9月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成30年4月24日

上場会社名 K I ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 常雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田地川 章 TEL (045) 822-7101
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績 (平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	26,669	5.1	3,552	54.8	3,593	48.3	2,367	60.2
29年9月期第2四半期	25,384	△ 17.9	2,294	△ 42.1	2,423	△ 38.8	1,477	△ 57.4

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 2,921百万円(14.1%) 29年9月期第2四半期 2,561百万円(△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	57.14	—
29年9月期第2四半期	35.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	51,472	16,690	25.4	315.53
29年9月期	45,521	14,240	23.4	256.67

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 13,072百万円 29年9月期 10,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00			
30年9月期 (予想)			—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年9月期の連結業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	47,400	5.8	4,400	25.6	4,400	18.8	2,700	33.6	65.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年4月24日)公表いたしました「平成30年9月期 第2四半期累計期間 業績予想値と実績値との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	41,587,061株	29年9月期	41,587,061株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	155,468株	29年9月期	152,363株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	41,432,698株	29年9月期2Q	41,438,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成30年9月期の個別業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	450	38.5	△ 820	—	2,110	108.1	2,450	99.6	59.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
個別業績予想の修正については、本日（平成30年4月24日）公表いたしました「平成30年9月期 第2四半期累計期間 業績予想値と実績値との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門及び鉄道車両シート部門が売上増となったことにより、前年同期比10.2%増の10,708百万円となりました。

電気機器関連事業につきましては、交通システム部門が売上増となったことにより、前年同期比1.8%増の15,082百万円となりました。

住設環境関連事業につきましては、環境システム部門が売上増となったことにより、前年同期比3.0%増の877百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比5.1%増の26,669百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減の効果などにより、営業利益は前年同期比54.8%増の3,552百万円と前年同期に比べ増加しました。また、営業利益の増加を受け、経常利益は前年同期比48.3%増の3,593百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比60.2%増の2,367百万円と前年同期に比べそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は受取手形及び売掛金の増加5,676百万円、現金及び預金の増加429百万円などにより、前連結会計年度末に比べ5,919百万円増加し、38,414百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加131百万円、建物及び構築物の減少77百万円などにより、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、13,058百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ5,950百万円増加し、51,472百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加2,649百万円、短期借入金の増加800百万円などにより、前連結会計年度末に比べ3,500百万円増加し、34,782百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益2,367百万円、その他有価証券評価差額金の増加87百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,450百万円増加し、16,690百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ429百万円増加し(前年同期は1,030百万円の減少)、当第2四半期連結会計期間末には4,519百万円となりました(前年同期比47.0%増)。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因はつぎのとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は58百万円(前年同四半期は1,907百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,594百万円、仕入債務の増加2,650百万円などの増加に対し、売上債権の増加5,680百万円、法人税等の支払額612百万円などの減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は209百万円(前年同四半期は102百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出192百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は701百万円(前年同四半期は883百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の純増額800百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正を行っております。

売上高につきましては、中国高速鉄道向けの売上増加により、増収となる見通しであります。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高の増加及び原価低減等により、増益となる見通しであります。

平成30年9月期 通期(平成29年10月1日～平成30年9月30日) 予想数値の修正内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	4,000	3,800	2,400	57.92
今回修正予想(B)	47,400	4,400	4,400	2,700	65.17
増減額(B-A)	400	400	600	300	—
増減率(%)	0.9	10.0	15.8	12.5	—
(ご参考) 前期実績	44,819	3,502	3,704	2,021	48.79

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,090	4,519
受取手形及び売掛金	19,652	25,329
製品	3,193	2,983
仕掛品	1,488	1,428
原材料及び貯蔵品	4,004	3,794
繰延税金資産	127	135
その他	151	394
貸倒引当金	△212	△170
流動資産合計	32,494	38,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,389	2,311
機械装置及び運搬具（純額）	124	121
工具、器具及び備品（純額）	223	199
土地	2,971	2,971
有形固定資産合計	5,708	5,604
無形固定資産		
	169	159
投資その他の資産		
投資有価証券	6,722	6,854
繰延税金資産	104	92
その他	444	461
貸倒引当金	△121	△114
投資その他の資産合計	7,149	7,293
固定資産合計	13,027	13,058
資産合計	45,521	51,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,576	11,226
短期借入金	4,500	5,300
1年内返済予定の長期借入金	1,013	1,003
未払法人税等	299	672
賞与引当金	436	473
その他	3,054	2,897
流動負債合計	17,881	21,572
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
繰延税金負債	982	1,006
役員退職慰労引当金	281	304
環境対策引当金	185	176
退職給付に係る負債	3,882	3,662
その他	68	59
固定負債合計	13,399	13,209
負債合計	31,281	34,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△9,248	△6,881
自己株式	△55	△57
株主資本合計	8,120	10,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,195	2,283
為替換算調整勘定	278	253
退職給付に係る調整累計額	40	48
その他の包括利益累計額合計	2,514	2,585
非支配株主持分	3,605	3,617
純資産合計	14,240	16,690
負債純資産合計	45,521	51,472

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	25,384	26,669
売上原価	20,458	20,636
売上総利益	4,926	6,032
販売費及び一般管理費	2,632	2,480
営業利益	2,294	3,552
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	24	26
為替差益	64	—
受取ロイヤリティー	64	—
貸倒引当金戻入額	16	42
その他	69	83
営業外収益合計	268	176
営業外費用		
支払利息	128	111
その他	11	23
営業外費用合計	139	134
経常利益	2,423	3,593
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,422	3,594
法人税等	563	741
四半期純利益	1,859	2,852
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,477	2,367
非支配株主に帰属する四半期純利益	381	485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	87
為替換算調整勘定	439	△27
退職給付に係る調整額	23	8
その他の包括利益合計	701	68
四半期包括利益	2,561	2,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,983	2,438
非支配株主に係る四半期包括利益	578	482

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,422	3,594
減価償却費	196	215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△48
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△126	△212
賞与引当金の増減額(△は減少)	△96	36
受取利息及び受取配当金	△52	△51
支払利息	128	111
投資有価証券売却益	△0	△0
固定資産除売却損益(△は益)	0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△6,105	△5,680
たな卸資産の増減額(△は増加)	650	464
仕入債務の増減額(△は減少)	2,031	2,650
その他	△638	△465
小計	△1,589	614
利息及び配当金の受取額	50	50
利息の支払額	△128	△111
法人税等の支払額	△240	△612
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,907	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△95	△192
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△6	△14
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600	800
長期借入金の返済による支出	△1,030	△10
非支配株主への配当金の支払額	△685	△86
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	883	701
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,030	429
現金及び現金同等物の期首残高	4,105	4,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,074	4,519

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,717	14,815	852	25,384	—	25,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,157	916	—	2,074	△2,074	—
計	10,874	15,732	852	27,458	△2,074	25,384
セグメント利益 又は損失 (△)	1,460	1,313	△59	2,713	△419	2,294

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△419百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,708	15,082	877	26,669	—	26,669
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,687	1,013	—	2,701	△2,701	—
計	12,396	16,096	877	29,370	△2,701	26,669
セグメント利益 又は損失 (△)	1,639	2,308	△10	3,937	△385	3,552

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△385百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。